

会議結果について

平成23年第2回市議会定例会は、6月1日招集され、会期を6月10日までの10日間と定め、一般質問は7、8日の2日間6名の議員より市の行政全般にわたり行われたほか、議案等22件の審議を行いましたので、その内容についてお知らせします。

□報告

次の4件が報告されました。

- 株式会社紋別振興公社の経営状況について
- 平成22年度紋別市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 平成22年度紋別市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
- 平成22年度紋別市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

□専決処分

平成22年度紋別市一般会計が発行する地方債の同意額等の変更に伴う専決処分について承認されました。

□補正された予算

平成23年度一般会計予算に2億5千878万円が追加され、総額で153億9千356万9千円となりました。

追加された内訳は次のとおりです。

○議会費	17万9千円
○民生費	1億7千582万1千円
○衛生費	164万6千円
○農林水産業費	7千600万円
○土木費	400万円
○教育費	113万4千円

このほか、国民健康保険事業特別会計についても予算補正が行われました。

□可決された主な条例

◆紋別市税条例の一部改正について

東日本大震災の被災者等の負担の軽減を図るため、個人住民税に係る特例措置を講ずるなど地方税法等の一部が改正されたことに伴い、所要の改正が行われました。

◆紋別市証明等手数料条例の一部改正について

戸籍事務の電算化に伴い、新たに磁気ディスクをもって調製された戸籍に記録されている事項等を証明した書面の交付に係る手数料について、手数料を徴収する事項として規定するため、所要の改正と条文中の文言の整理が行われました。

◆紋別市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正が行われました。

◆紋別市沖合底びき網漁業経営基盤安定化促進条例の制定について

沖合底びき網漁業の経営基盤安定化のため、漁船の更新に対し補助金を交付し、本市水産

業の持続的な発展と地域経済の安定化を図ることを目的に、本条例が制定されました。

□条例以外の議案

◆紋別市過疎地域自立促進市町村計画の変更について

平成22年4月に施行された過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律に伴い、失効期限が延長されたことにより、平成22年度から平成27年度までの紋別市過疎地域自立促進市町村計画を策定したところであるが、円滑な施策の展開を図るために、計画の一部を変更することについて議決されました。

◆訴えの提起について

市営住宅使用料の滞納者に対し、住宅の明渡し及び住宅使用料の支払いを求める訴えを提起することとされました。

◆議決事項の一部変更について

元市職員の不祥事の調査に関する動議の議決（H22.9.16議決）について、特別委員会における調査経費を21万8千円から39万7千円に増額変更することについて議決されました。

□人事

◆紋別市農業委員会委員の推せん

議会推薦による農業委員として、次の4名が推せんされました。（敬称略）
阿部秀明、石田哲夫、久保英雄、竹内哲夫（任期 H23.7.28～H26.7.27）

□意見書

次の2件が原案可決されました。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

◎住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書